

(2枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

1 次の1・2に答えなさい。

1 次の(1)～(4)は、日本国憲法、教育基本法、学校教育法及び地方公務員法の条文の全部又は一部です。(A)～(D)にあてはまる言葉をそれぞれ書きなさい。

(1) すべて国民は、法律の定めるところにより、その(A)に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。

(日本国憲法第26条)

(2) 法律に定める学校の教員は、自己の崇高な(B)を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。(教育基本法第9条)

(3) 義務教育として行われる普通教育は、教育基本法(平成十八年法律第百二十号)第五条第二項に規定する目的を実現するため、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

(中略)

二 学校内外における自然体験活動を促進し、(C)及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。(学校教育法第21条)

(4) 職員は、その職の信用を傷つけ、又は職員の職全体の(D)となるような行為をしてはならない。

(地方公務員法第33条)

2 教育基本法第14条では、政治教育に関する規定が設けられています。この規定はどのような内容ですか。簡潔に2つ書きなさい。

2 小学校学習指導要領、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領及び特別支援学校学習指導要領 総則 では、各教科等の指導に当たって配慮すべき事項として、児童又は生徒の思考力、判断力、表現力等をはぐくむ観点から、どのような活動を充実することが必要であると示されていますか。簡潔に書きなさい。

3 特別支援教育に関して、次の1・2に答えなさい。

1 次の文は、障害者の権利に関する条約第2条に示された合理的配慮の定義です。文中の(A)・(B)にあてはまる語は何ですか。下のア～エの中からそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

「合理的配慮」とは、障害者が他の者との(A)を基礎として全ての人権及び基本的(B)を享有し、又は行使することを確保するための必要かつ適当な変更及び調整であって、特定の場合において必要とされるものであり、かつ、均衡を失した又は過度の負担を課さないものをいう。

(A) ア 平等 イ 共生 ウ 協働 エ 連携

(B) ア 利益 イ 自由 ウ 尊厳 エ 理念

2 障害のある児童及び生徒に対して合理的な配慮を行う際、どのようなことに留意する必要がありますか。簡潔に2つ書きなさい。

(2枚のうち2)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

- 4 いじめ防止対策推進法第23条には、いじめに対する措置が示されています。それはどのような内容ですか。簡潔に3つ書きなさい。
- 5 平成20年3月に告示された小学校学習指導要領では、第5学年及び第6学年を通じて指導する外国語活動の内容が示されています。言語と文化に関する事項として、どのようなことを指導する必要があると示されていますか。簡潔に3つ書きなさい。
- 6 総合的な学習の時間を、探究的な学習とするためには、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の4つのプロセスを取り入れた学習過程にすることが重要であり、「課題の設定」のプロセスにおいては、児童生徒が自ら課題意識をもつことが大切です。児童生徒に自ら課題意識をもたせるためには、教師は、どのような意図的な働きかけをすることが重要ですか。200字以上300字以内で書きなさい。

29

教職に関する専門教育科目 小学校 解答用紙

(2枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

1

1 (A) _____ (B) _____ (C) _____ (D) _____

2

2

--

3

1 (A) _____ (B) _____

2
